



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

宮城県 仙台市立生出中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和4年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人 日本オリンピック委員会（JOC）
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2022年4月～2023年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

### 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、  
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



### 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、  
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



**1コマ目**

**運動の時間 / 50分**

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

**2コマ目**

**座学の時間 / 50分**

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、  
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、  
分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、  
今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した  
自己紹介



オリンピック自身の経験に基  
づく「オリンピックの価値」等を  
伝える



個人またはグループワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック** : 田中 琴乃 先生 (体操/新体操) 【出場オリンピック/北京大会、ロンドン大会】

■ **期 日** : 2022年5月31日(火)

■ **ク ラ ス** : 全学年合同/運動の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ 準備体操



- ・新体操はリボン、ボール、フープ等の手具を使用し、音楽に合わせて演技を行う競技であると説明後、リボンとボールを使って動きを紹介した。
- ・オリンピックバリューには3つの価値があり、運動の時間は体を動かしながらオリンピックバリューを感じてほしいと、授業の目的を確認。
- ・準備運動は、ボール取りゲームを実施。指示された体の部位を触り、ボールを取る。後ろ向きからスタートする等、ルールを変えて数回実施した。

○主運動 等



- ・主運動は「ポッチャ」を実施(全2回)。  
ルール説明後、練習タイムを設け、班毎に対戦し2試合実施。パラリンピック競技として、年齢や性別を問わずできるスポーツであり、健常者も障がい者も、皆で一緒に楽しめるのが魅力だと話す。



- ・運動の時間を振り返り、良いプレーや、仲間が投げる時に声を掛けたり、作戦タイムで意見を出し合う等、そこにオリンピックバリューがあった。普段の生活でもオリンピックバリューが身近に存在していることに気付き、実感してほしい。座学の時間は、競技生活の中で経験し学んだことが、どのオリンピックバリューに当てはまるかを話し、皆も自分のオリンピックバリューについて考える時間にしてほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 田中 琴乃 先生 (体操/新体操) 【出場オリンピック/北京大会、ロンドン大会】

■ **期 日** : 2022年5月31日(火)

■ **ク ラ ス** : 全学年合同/座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・映像を見ながら、新体操競技について説明。先生の経験を踏まえ、オリンピックバリューの「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」について、自分にも当てはまることあるか、考えながら聞いてほしい。オリンピックの開会式を見たことがきっかけでオリンピックに出場する夢を持った。常に自分自身がライバルだと思い、夢に向かって日々努力し、厳しい練習と向き合ってきた。周りの人の支えがあったからこそオリンピックに出場できたと話す。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



発問：より良いクラスにするために何が必要か、オリンピックバリューに当てはめて考えよう。

発表：エクセレンス：「共通の目標を立てる」「強い気持ちを持つ」「自分の経験を大切にする」「自分に負けない」「雰囲気明るくする」等

フレンドシップ：「団結する」「正直になる」「支え合う」「悪いところは注意し改善する」「相手の長所や短所を受け入れる」等

リスペクト：「友達の良いところを見つけ、認める」「人のために動く」「感謝を忘れない」「相手を思いやり、暴言をはかない」等



・競技人生を振り返り、学んだことが2つある。1つは、「昨日の自分に負けない、諦めないという強い気持ちを持つ」、もう1つは、「誰かのために何かをすることは大きなパワーを生む」ということ。競技人生の全てがオリンピックバリューに当てはまる。皆もこれからの人生を歩む中で、楽しいこと以上に辛いことや苦しいことがたくさんあると思う。今日の話を思い出し、ライバルは自分であり、日々の努力が大切であることを忘れないでほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真



■ 記念品贈呈



■ 修了証贈呈

